

地域貢献活動支援報告書

創造開発研究センター長 殿

所 属 フィールドサイエンスセンター(FSC)
氏 名 FSC 長・平塚 伸

活動テーマ	教育ファーム推進事業																																																																																										
実施期間	平成 21 年 5 月 日 ~ 平成 22 年 1 月 日																																																																																										
活動内容	 具体的な活動実施内容 21年度は、イネ、ダイズ、野菜類、果物、茶の栽培を体験させた上で、栄養教諭の指導の下でバランスのとれた給食メニューを考え、食べることで、「学んで、作り→考えて、食べる」一連の作業、行為を習慣付けさせることを目的にした。昨年にひきつづいて豊が丘小学校3年生(81名)、大里小学校3～6年(119名)を対象にイネ、トマト、ブドウ、ナシ、ミカン、イモ類の栽培体験、生き物観察、試食の他、トマトケチャップの加工、試食など農と食に関わる体験を下記の日程で実施した。 教育ファームプログラム実施実績 <table><tr><th>カテゴリー</th><th>5</th><th>6</th><th>7</th><th>8</th><th>9</th><th>10</th><th>11</th><th>12-1</th></tr><tr><td>主食</td><td>田植え 5/20</td><td></td><td>イネ</td><td></td><td></td><td>稲刈り 10/5</td><td></td><td></td></tr><tr><td>主菜(ダイズ)</td><td></td><td></td><td>播種 7/8</td><td>ダイズ</td><td></td><td>枝豆収穫 10/9</td><td></td><td>収穫 12/2</td></tr><tr><td>副菜</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>定植</td><td>ハクサイ</td><td>収穫 1/15</td></tr><tr><td>果物</td><td>定植 5/20,28</td><td></td><td>サツマイモ</td><td></td><td></td><td>収穫 10/19,27</td><td></td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>摘果 7/8,13</td><td></td><td>ミカン</td><td></td><td>収穫 11/26</td><td></td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td>ナシ</td><td></td><td>定植 9/29</td><td></td><td>イチゴ</td><td>収穫 1/19</td></tr><tr><td>茶</td><td></td><td>摘果 6/22</td><td>茶摘み 7/13</td><td>茶加工 7/13</td><td>収穫 9/3</td><td></td><td></td><td>FSC産物の提供</td></tr></table> 自分達で作った食材で作る バランスのとれた給食																			カテゴリー	5	6	7	8	9	10	11	12-1	主食	田植え 5/20		イネ			稲刈り 10/5			主菜(ダイズ)			播種 7/8	ダイズ		枝豆収穫 10/9		収穫 12/2	副菜						定植	ハクサイ	収穫 1/15	果物	定植 5/20,28		サツマイモ			収穫 10/19,27						摘果 7/8,13		ミカン		収穫 11/26					ナシ		定植 9/29		イチゴ	収穫 1/19	茶		摘果 6/22	茶摘み 7/13	茶加工 7/13	収穫 9/3			FSC産物の提供
カテゴリー	5	6	7	8	9	10	11	12-1																																																																																			
主食	田植え 5/20		イネ			稲刈り 10/5																																																																																					
主菜(ダイズ)			播種 7/8	ダイズ		枝豆収穫 10/9		収穫 12/2																																																																																			
副菜						定植	ハクサイ	収穫 1/15																																																																																			
果物	定植 5/20,28		サツマイモ			収穫 10/19,27																																																																																					
			摘果 7/8,13		ミカン		収穫 11/26																																																																																				
			ナシ		定植 9/29		イチゴ	収穫 1/19																																																																																			
茶		摘果 6/22	茶摘み 7/13	茶加工 7/13	収穫 9/3			FSC産物の提供																																																																																			
実施日	5/20	5/28	6/22	7/8	7/13	9/3	9/29	10/5	10/9	10/19	10/27	11/26	12/2	1/15	1/19																																																																												
体験項目	田植え	サツマイモ定植	ナシの摘果	ミカンの摘果	ダイズの播種	茶摘みと加工	ミカンの摘果	ナシの収穫	イチゴの定植	稲刈り	枝豆の収穫	ハクサイの定植	サツマイモの収穫	ミカンの収穫	ダイズの収穫	ハクサイの収穫	イチゴの収穫	計																																																																									
大里小学校					36		36				36			36	36		21	180																																																																									
4年						21						21				21		63																																																																									
5年	29			29						29				29				116																																																																									
6年		30						30					30				30	120																																																																									
豊が丘小学校			81	81				81					81					324																																																																									
参加者数	29	30	81	81	29	36	21	36	81	30	0	29	36	21	81	30	65	0	803																																																																								

21 年度の教育ファームは 5 月から翌年 1 月にかけて 19 回行われた。本年度は対

象校が1校増え2校となり、対象学生は延べ約800名に達した。

また、本年度は「考えて、食べる」視点から、体験メニューに主食、主菜、副菜、果物、茶を取り入れ、農業体験で育てた農産物を食材にして給食で食べられるように工夫した。献立作りは栄養教諭の指導のもとで行われ、何度が給食で提供された（写真1）。この取り組みは、子供たちの手によってまとめられ地域の催しで発表されている（写真2）。



写真1 フームで栽培したサツマイモを使った給食



写真3 新聞紹介（伊勢新聞 10月6日）



写真2 「大里なかよしファーム」発表資料

昨年同様に、教育ファームの取り組みは、地域の注目を集め、新聞各紙に何度が取り上げられている（写真3）。参加児童には極めて好評で、食育に対する効果は生徒の作成した文集などによく現れている。また、家庭での話題になるなど波及効果の高さもうかがわれる。

共同実施者との連携

小学校と大学農場を中心に、市教育委員会、JA間で三重大学教育ファーム推進協議会を設立して事業実施前後に検討会をもつと同時に、実際のプログラムの運営についてはメーリングリストを活用することで、担当者間で連絡調整すると同時に情報の共有化が図れる体制を図った。

大学教育との関わり

食育の対象者は現在の子供からその親世代に拡大は必至で、当然、近い将来に親となる大学生も守備範囲に入ってくる。また、食育教育の担い手である指導者養成においても、大学の果たす役割が求められてくるものと思われ、農と食への関心を高める取り組みはフィールドをもつ大学農場の重要な教育分野と位置付けられる。このような考えから、FSCは21年度に教員免許更新講習「フィールドを用いた食育の科学」を担当するなかで、食育の場としての教育ファームを紹介しており、関連した取り組みを展開している。22年度は中学校も対象に加えたうえで、新指導要領に則したプログラムを提案、実施する計画である

継続希望の有無

有